

在宅医療・介護多職種連携協議会 多職種連携・情報共有システム部会 ～報告～

部会の目的

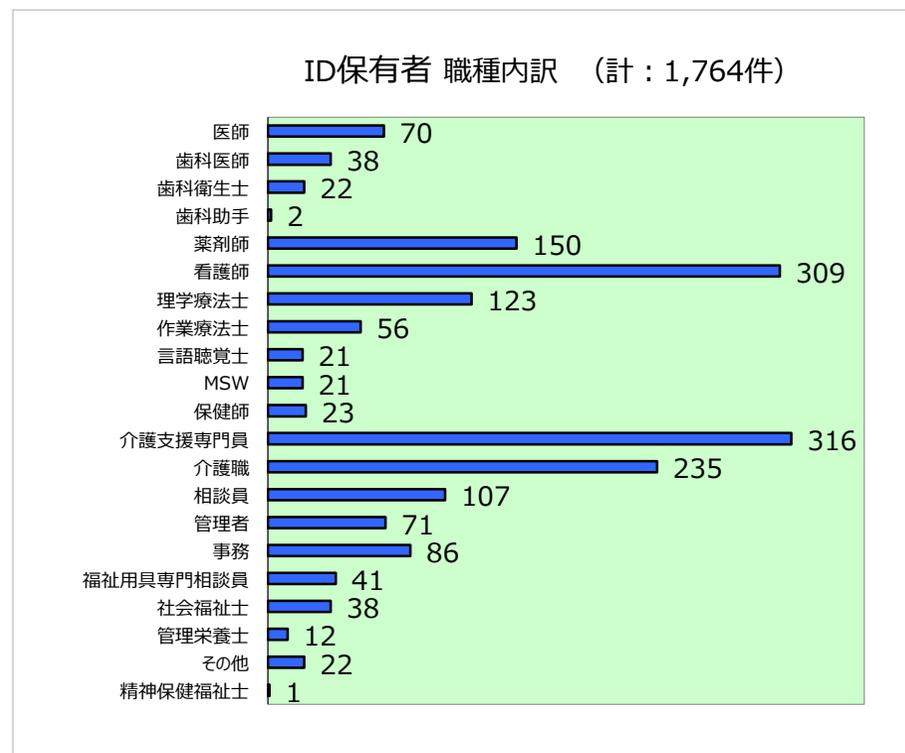
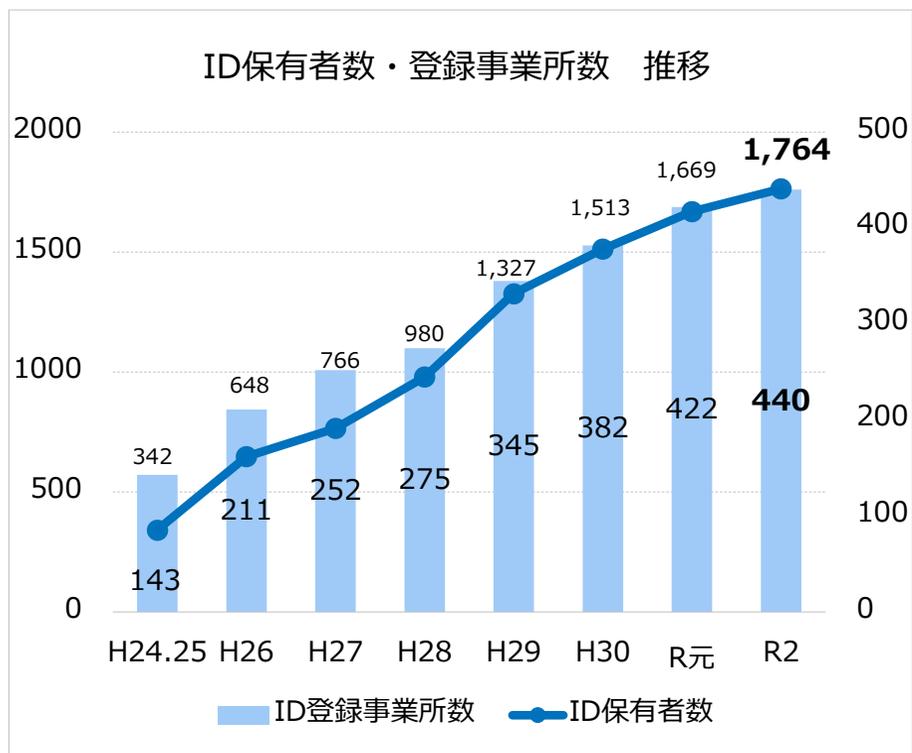
在宅医療に係る多職種連携の推進及び情報共有システムの効果的な活用について検討する。(試行WG, 試行WG評価チームの発展形)

- 症例を通じた多職種連携ルールの検討
- 好事例を基にした情報共有システムの活用方法の検討

1-1. カシワニネット利用状況報告 | ID保有者数

現状

- ID保有者数, 登録事業所数共に増加。
- カシワニネットで職能団体の部屋を作成し, 情報共有の場としている訪問看護師, ケアマネの保有者数が多くなっている。



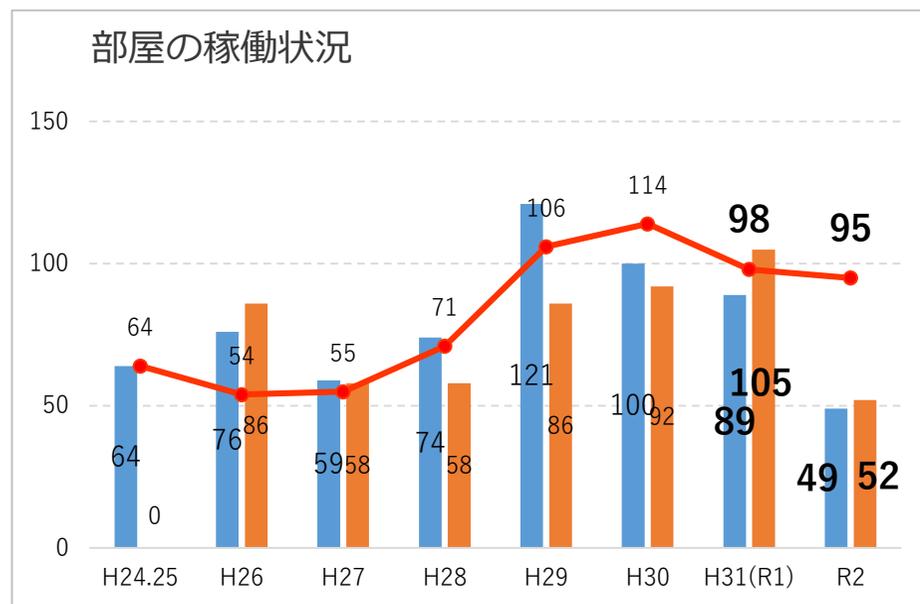
1-2. カシワニネット利用状況報告 | 部屋稼働状況

現状

- 部屋の新規開設数，削除数ともに令和元年度と比較し，大幅に減少。
- 一方，部屋の稼働状況は横ばい。

要因

- 症例別部屋開設数内訳から，長期利用の傾向にある「がん以外」の開設数が「がん」の開設数を上回ったことが，稼働状況の横ばいに繋がっていると考えられる。



症例別 部屋開設数内訳

年度	H30	R1	R2
がん	52件	49件	18件
がん以外	48件	40件	31件
計	100件	89件	49件

※数値には反映されていないものの，IDの広まりと共に有料ユーザーの活用状況も広がりを見せている。

2. カシワニネット Zoom連携機能について

現状

- 4/27よりカシワニネット内にZoom連携機能を実装。全ユーザーに無料開放中。
- カシワニネットIDとZoomIDを紐づけることで、カシワニネット内でZoom会議の設定・通知・参加が可能。



特徴

- カシワニネットの部屋単位での会議。部屋参加者から絞り込みも可能。連絡先を知らなくても招待可能。ミーティングID/PW漏洩の心配なし。
- 会議後にカシワニネット上で記録作成し、メンバー間での共有が可能。

3. カシワニネット活用促進について | グループワーク

取組みの方向性

- ID取得だけでなく、活用に向けた取組みの検討。
- **医師、訪問看護師、ケアマネをターゲット**にした取組みの整理・検討。

部会員のご意見

優先順位	第1グループ	第2グループ
1	病院の外来主治医の場合でも部屋を開設できるようにする	担当者会議をZoomでできることを各職能団体の会議でPRする
2	通常業務に直結する形でのメリットの打ち出しをする	Zoomで顔の見える関係会議を実施する
3	気楽に使ってもらえるための顔の見える関係作りを進める	オブザーバー制度を導入する ※架空の部屋を模擬的に作成し、 部屋の利用体験ができるようにする。

※カシワニネットと業務上の記録への二重入力に伴う負担軽減に関しては、カナミック社に対して働きかけを継続する。

4. カシワニネットの部屋開設ルール緩和について

ルール緩和にあたっての方針

- 地域包括ケアシステムを実現するための医療介護連携の情報共有ツールとして広く活用してもらおう。

部屋開設の現行ルール（参考）

- 緩和の内容については、6/15(火)プライマリケア委員会で議論し、連携協議会にて諮問予定。（詳細は、当日資料として別途配布予定）

#	対象	ルール	備考
1	利用者	本人・家族の同意	
2	主治医	部屋への参加必須	流山市事業所は連携協定により、流山市の職能団体に所属していれば参加可能
3	事業所	市内事業所かつ 職能団体に所属 ※一部職能団体で例外あり	

5. 今後の予定

カシワニネットZoom連携の活用推進

- 無料開放期間中（終了時期未定）に医師・ケアマネ・訪問看護師を中心に利用を呼びかけ。
- 担当者会議等での活用を依頼し、満足度・使い勝手の評価を実施。
無料開放期間終了後の導入の是非を検討する。

活用推進の取組みの実施検討

- グループワークの結果に基づき、取組みの実施方法、時期などを検討し、提示。

6. 今年度の部会開催予定

第2回部会 8月6日（金） 19時～

- 第1回部会で議論した活用推進の取組み案を基に、工程に合わせた実施時期を提示
- カシワニネットのZoom連携評価
- 個人情報研修会の実施協議

第3回部会 2月14日（月） 19時～

- 活用推進の取組みの実施結果（進捗）報告、評価
- 次年度に向けた取組みの方向性の検討